

国際会議

◆第8回 ITS 世界会議

2001年9月30日～10月4日、オーストラリアのシドニーにて第8回 ITS 世界会議 (The 8th World Congress on Intelligent Transport Systems) が行われ、世界各国から約3,800名が参加し、ITSショーケースの展示と約500もの論文発表が行われました。

今回の世界会議には IBS から交通研究室の牧村和彦、佐藤和彦、中嶋康博の3名が参加しました。

佐藤は広島で社会実験を行ったマルチモーダル情報提供についての論文を発表し、活発な議論を行いました。牧村と中嶋は道路行政における世界各国の ITS の活用動向の把握と国土交通省におけるプローブカーを活用した道路行政の発表等のサポートを行ってきました。プローブカーは将来のキラーコンテンツとして世界中で注目されており、約20本の論文とスペシャルセッションが開催されました。

ITS 世界会議は ITS に関する世界の動向を把握するには非常に良い機会です。来年はアメリカのシカゴにて開催されます。ITS に関心のある方は是非参加されてみては如何でしょうか。

(交通研究室 中嶋 康博)

◆第4回アジア交通学会

第4回アジア交通学会 (The 4th Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies: EASTS'01) が2001年10月24日(水)～27日(土)にかけて、ベトナム・ハノイの Daewoo Hotel にて開催され、アジア、オセアニア地域等からの多数の出席者によって活発な議論が行われました。IBS からは黒川理事長、経済社会研究室の毛利雄一、佐藤徹治、林達朗の4名が出席。佐藤が“The Effect of the Spread of Expressway Network on Traffic Demand in JAPAN” (by Tetsuji SATO, Tatsuro HAYASHI and Yuichi MOHRI) の論文について報告を行いました。

(経済社会研究室 佐藤 徹治)

◆第9回世界交通学会

2001年7月22日～27日の6日間、韓国ソウルの COEX コンベンションセンターにおいて、第9回世界交通学会 (9th World Conference on Transport Research) が開催されました (主催：世界交通学会 (WCTR Society、中村英夫会長))。IBS からは、毛利雄一、井上紳一と趙勝川の3名が参加し、3編の論文を発表しました。

本会議は、1977年のロッテルダムにおける第1回会議以来、3年おきに開催されています。次回、第10回会議は、2004年7月4日～8日にトルコのイスタンブールで開催される予定です。

(交通研究室 趙 勝川)

◆日中韓越境大気汚染研究共同プロジェクト

2001年8月、ソウルで第4回日中韓越境大気汚染研究共同プロジェクト (政府間協力事業) に関する専門家会合が行われ、各国のモニタリング、モデリング、排出インベントリーの状況が報告・検討され、今後1年の研究計画が議論・合意されました。

筆者は日本における揮発性有機化合物排出インベントリーの開発状況の報告を行いました。各国の統計資料の整備状況や地域特有の排出係数の把握状況の違い等により排出インベントリー開発の進捗は必ずしも足並みがそろっていませんが、今後、総合的な排出インベントリーを用いた大気輸送変質のシミュレーションにむけ、来年夏には合意されたフォーマットで揮発性有機化合物排出インベントリーを持ち寄ることになっています。

(環境資源研究室 神成 陽容)